

### 福島市飯野町の「つるし雛まつり」

2月28日、(社)福島市観光コンベンション協会主催の「ふくしま雛めぐり」のバスツアーに参加しました。バスの中は、昔女の子だった人達の熱気でいっぱいです(他人のことは言えない)。

つるし雛飾りとは、昔から女兒の健やかな成長と幸せを願って、古布(和布)やハギレなどで、一つ一つの形を作り飾るものです。それぞれに縁起の良い意味や、作る人の思いが込められています。

飯野町では子どものすこやかな成長を願いながら、「町の活性化」「古布のリサイクル」「文化の伝承」につながればという想いで、つるし雛まつりを開催しています。

地元の男性ガイドの方に話を聞きました。

「日本三大つるし雛飾りは、①柳川(福岡県)・②酒田(山形県)・③稲取(静岡県)が有名です。つるし雛には2つの流れがあるとのこと。第1は、地方の豪商が豪華絢爛なつるし雛を飾る(柳川や酒田)。第2は、貧しくて雛人形を飾れないので、祖母や母親が手づくりでつるし雛を作る(稲取)。私は、前者よりも後者の方が好きです。

飯野町は、福島市の南東にあります。平成の大合併で、福島市に編入され、現在は飯野支所となっています。世帯数は1,871世帯、人口は男2,719人、女2,792人、計5,511人です(2月1日現在)。

飯野町のつるし雛は、後者です。昔は、娘の幸せを願って、祖母や母親が一針一針手づくりでつるし雛を作りました(親の心、娘知らず)。

つるし雛には、ひな人形だけではなく、犬(子供の多産を願う)、うさぎ(縁起が良く前へと進む)、とうがらし(娘に悪い虫が付かないようにと願う)等もあるとのことです。

飯野町のつるし雛まつりは、復活して第8回目になります。毎年3月に16日間にわたって行われます。つるし雛を作る会のサークルの人達が、1年をかけて作ります。つるし雛を飾る商店は約40軒ですが、普段はシャッターを降ろしている店も多いとのことです。

何でこのような交通不便な場所に(失礼!)、街があるのか。昔は、飯野町と川俣町は、絹織物の産地で、昭和47年までは、東北本線の松川駅(松川事件で有名)から、飯野町と川俣町間に国鉄が通っていました。」

### 飯野町には 飯舘村の「仮の役場」が置かれている

飯野町には、福島第1原発事故で全村避難をしている、飯舘村の「仮の役場」が置かれています。また、仮設住宅もあります。つるし雛飾りを飾っている「雛であい館」には、「飯舘村のコーナー」があって、産直の品が置かれています。

【手づくりによる つるし雛飾り (雛であい館・飯野町)】



【飯野町に「仮の役場」を置いている飯館村のコーナー (雛であい館・飯野町)】

